



竹林の風

栃木県教育委員会事務局
河内教育事務所
平成21年12月21日
発行責任者 村上 雅之



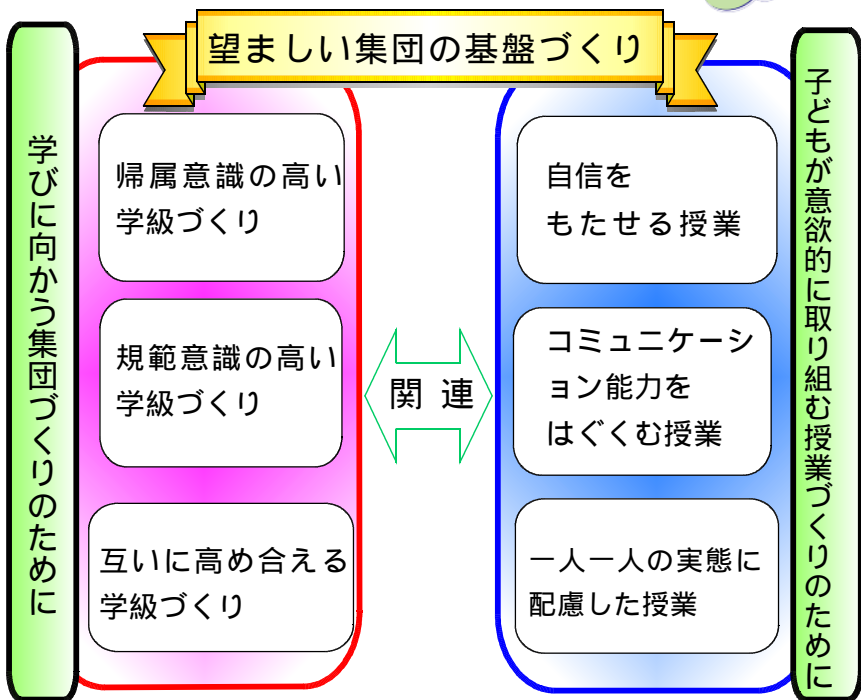
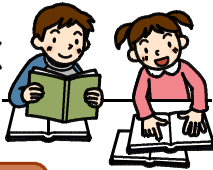
学業指導の充実に向けて



学校での教育活動は、様々な場面で集団を中心として進められています。

そこで、「集団の中で学ぶ」という学校教育の特質を生かしながら、右の図のような取り組みを関連させ、指導を充実させていくことが、児童・生徒指導を推進する上では大切です。

チェックシートなどを活用しながら、今年度の取り組みを見直してみてください。



具体的な手立てやチェックシートが栃木県教育委員会発行のリーフレット「学業指導」(教職員用)に詳しく掲載されています。ぜひご覧ください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/education/kyouikuzenpan/kyouikuinkai/resources/gakugyou-kyousyokuin.pdf>

支援します!! ～家庭教育サポート事業～

近年、子どもを取り巻く社会環境が著しく変化にしています。それに伴い、社会全体で家庭教育を支援する環境を整備したり、保護者の方がきめ細かな家庭教育を進められるように支援したりすることが必要とされています。

本事業は、企業へ出向いて働く保護者を対象にワークショップや講話の研修を実施し、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)への取組みや父親の家庭教育参加への意識の向上を図るなど、企業を含めた社会全体による家庭教育支援の気運を醸成していくことを目的としております。

12月4日(金)に(株)サニ・クリーンで「ワーク・ライフ・バランスと家庭教育について」というテーマで実施しました。

営業部の男性の方々を中心に、日頃の生活や子育ての工夫、家庭教育の重要性などを話し合いました。参加者からは「社員同士で家庭生活について話し合うよい機会となった。」という声が聞かれました。



サニ・クリーンでのグループ協議

保護者として、地域の大人として、子育てにかかわる意識を高めるきっかけとなったようです。

地区ごとに展開してます —学校支援地域本部—



本年度は、学校と地域の連携体制の構築を目指した学校支援地域本部事業が2年目に入り、河内地区では現在54地域本部が各学校の実態に応じた活動を展開しております。



学校支援地域本部事業の成果

- ・ 地域と学校の連携が深まり、地域社会と学校との交流の機会が増えた。
- ・ ボランティアの方々の生きがいづくりにつながった。
- ・ 地域全体で取り組んだため、子どもの規範意識、コミュニケーション能力が向上した。

【文部科学省が実施したアンケートより(平成21年3月)】

今後も、県教育委員会が主催する年5回のコーディネーターの養成研修をとおして、地域住民の方が主体的・継続的にボランティアに参加できるように、河内教育事務所としても支援してまいります。(研修を希望される場合は市町教育委員会までお申し込みください。)

学校支援地域本部事業関係者研修

日時：平成22年2月16日(火)13:15～

場所：総合教育センター 409研修室

内容：平成21年度活動事例発表

対象：学校支援に関心のある方、教職員など
奮ってご参加ください!



「人」「出会い」そして「愛」 ～おすすめの本～

先日、小学校教諭を経て児童文学作家となり、その後、埼玉県教育委員会教育委員長を務められた上條さなえ先生の講演会に参加する機会を得ました。

以前から「10歳の放浪記」「かなしみの詩」を読んで知っていましたが、上條先生の教師になるまでの人生は、想像を絶するものでした。

10歳で一家が離散。学校へも行けず、父親とドヤ街を渡り歩く放浪の生活。やがて入学した養護学校では、壮絶ないじめに遭う。それでも、三度の食事ができることの幸せに耐える日々。そんな人生を変えてくれた山下先生との出会い。山下先生の愛情あふれる指導に救われ、教師を志したそうです。

講演の中で、先生が言われた「愛に囲まれている子ども達を育ててほしい。」という言葉が、今でも心に響いています。

私たちも、教育に喜びと誇りを持ち、子ども一人ひとりを見つめ、「愛」ある指導を心がけたいものです。



「10歳の放浪記」 講談社発行

